



沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵

鎌倉芳太郎と記録

フィールドワーク第2弾 井戸

石川直樹フォトワークショップ



沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵

〈フォトコンテスト連動企画〉
2024年の三木町を記録して、50年後それがどんな意味をもつか。鎌倉芳太郎さんが琉球文化を調査記録し、首里城の再建に貢献したように、身近にあるものを記録することでそれを「宝」として次の世代に繋ぐことができます。記録の大切さについて考えるフォトワークショップです。



▲ 鎌倉芳太郎 (かまくらよしとろう)

1898年、香川県三木町永上村(現・三木町大字永上)生まれ。東京美術学校図画師範科卒業後、沖縄県女子師範学校や沖縄県立第一高等女学校にて教職に就きながら沖縄の美術工芸などを研究。その後、東京美術学校助教授を歴任し、退官後は染織家として活動始める。型染の人間国宝(1973年)であり、沖縄研究で遺した記録が国の重要文化財に指定(没後・2005年)される。代表著書に『沖縄文化の遺産』。石垣市名誉市民および三木町名誉町民。1983年、84歳で逝去。

▼ 石川直樹 (いしかわなおき)

1977年、東京都生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。人類学、民俗学などの領域に関心を持ち、あらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。2011年『CORONA』(青土社)にて土門拳賞。2020年『EVEREST』(CCCメディアハウス)、『まれびと』(小学館)により写真協会賞作家賞ほか多数。2016年から2019年にかけて個展『この星の光の地図を写す』を国内6カ所の美術館で開催。2022年、香川県で撮影した写真集『MOMENTUM』(青土社)を刊行。2021年より『三木町フォトコンテスト』の特別審査員を務める。

日時 令和6年12月21日(土)

13:00-16:30 ※12時30分受付開始

場所 井戸公民館

〒761-0823 香川県木田郡三木町井戸2679-1

1

13:00-14:00

鎌倉芳太郎さんから記録の大切さ(重要性)を学ぶ

鎌倉芳太郎さんはじめ、昔の三木町の資料などを見ながら、勉強会を行います。(石川直樹さんの講義)

〈15分休憩〉

2

14:15-15:30

カメラをもってフィールドワーク

写真を撮りながら、井戸地区を散策します。どんなものでも構いません。街の気になったものを撮影しましょう。竹一刀彫の伝統工芸士に会えるかも。

〈15分休憩〉

3

15:45-16:30


石川直樹さんによる講評

撮影した写真を投影しながら、講評をおこないます。同じ場所を歩いて、視点は人それぞれ。多様な風景を、参加者の皆さんとシェアします。

解散後

撮った写真を「三木町フォトコンテスト2024」に応募しよう!



対象 中学生以上 ※カメラをご持参ください(何でもOK)
定員 10名程度(先着順) ※定員に達した場合は受付終了
参加費 無料
申込 右記のQRコードよりお申込みください → 
募集期間 12月6日(金)まで

[問い合わせ]

一般社団法人三木町観光協会
〒761-0703 香川県木田郡三木町鹿伏310番地ベルシティ内
Tel: 087-802-5510 Mail: mikicho-kanko@hyper.ocn.ne.jp
主催 一般社団法人三木町観光協会

